



姫路のいちじく

栽培されている「柘井ドーフィン」という品種は、果実が大きく、
収穫量も多いことに加え、糖度が高いことが特徴である。

糖度は17~19度、9月頃は20度を超える。



歴史

昭和40年代頃より、米の生産調整の一環としていちじくの産地化が進み、栽培面積を拡大した。
植付2年で収穫が開始できることや、収穫時期が長く女性や高齢者でも栽培しやすい。

収穫・販売時期

8月~10月



【農産物に係る取組】

姫路東部・西部いちじく部会では、一文字整枝（左右に伸ばした主枝から結果枝を垂直方向に生やし、垣根のように仕立てる方法）により栽培している。



おいしい食べ方

- ・そのままデザートに
- ・ジャム 等

